

自己評価結果報告 概要

2021年度

評価判定は、保護者アンケートを受けて職員それぞれが4段階（A 十分達成されている・B 達成されている・C 取り組まれているが成果が十分でない・D 取り組みが不十分である）に振り分け自己評価しI項目ずつ全体を平均したものを表記しています。

I 「保育の計画性」についての評価結果及び改善策

評価 A

- 1 園の教育理念・教育目標の理解
- 2 幼稚園教育要領の理解
- 3 教育課程の編成
- 4 指導計画の作成
- 5 環境構成
- 6 評価・反省

という 6つの観点から達成度を振り返りました。

- ・一人ひとりの子どもの良さを認め、子ども達の自由な発想や友達との関係を築ける遊び時間を大切に過ごした。
- ・子ども達の目線に立ち一人ひとりの話をよく聞き、思いを受け止めるように心掛け一日を楽しく過ごしてもらえるように配慮した。
- ・複数担任制でクラス活動の中でもクラス対応と個別に対応というように仕事分担ができ細やかに対応できる機会が多かった。

《 改善策として 》

- ・保育の振り返りを定着し文章として可視化することで、次年度に生かす保育を心掛けるようにしたい。
- ・保育計画のPDCAを会議の中に意識して取り組むよう心がける。

II 「保育者の在り方、幼児への対応」についての評価結果及び改善策

評価 A

- 1 健康と安全への配慮
- 2 幼児理解
- 3 指導と関わり
- 4 保育者同士の協力・連携

という 4つの観点から達成度を振り返りました。

- ・一人ひとりの子どもの良さを認め、子ども達の自由な発想や友達との関係を築ける遊び時間を大切に過ごした。
- ・子ども達の目線に立ち一人ひとりの話をよく聞き、思いを受け止めるように心掛け一日を楽しく過ごしてもらえるように配慮した。

- ・複数担任制でクラス活動の中でもクラス対応と個別に対応というように仕事分担ができ細やかに対応できる機会が多かった。

《 改善策として 》

- ・子ども達一人ひとりの様子を把握して育ちを大切にしながら常に目標を持って保育にあたりたい。
- ・年齢別の発達段階を理解し保育者間で共有する。

Ⅲ「保育者としての資質と能力」についての評価結果及び改善策

評価 A

- 1 専門家としての能力・姿勢・義務
- 2 組織の一員としての在り方

という2つの観点から達成度を振り返りました。

- ・子ども達と時間を過ごし共に生活していく中で信頼関係を築き保育者として子ども達の真剣に向き合うように努力した。
- ・保護者の方と関わった時、クラス通信や個人懇談等で子ども達の様子をわかりやすく伝えるように配慮した。

《 改善策として 》

- ・常に幼児の発達段階を理解する為に園内研修を取り入れていく。
- ・日々の評価と反省を記録するノートを作る。

Ⅳ「保護者への対応」についての評価結果及び改善策

評価 A

- 1 情報発信と受信
- 2 守秘義務の遵守
- 3 対応上のマナー・心がまえ
- 4 クレームへの対処の仕方

という4つの観点から達成度を振り返りました。

- ・送迎時など保護者の方と関わるときには積極的にお子さまの様子を伝えるよう心がけた。
- ・文章など堅苦しくならないよう視覚からのクラス通信を心がけた。
- ・クレームなど保護者の方に不快な思いをさせた場合には、どのように対応したか記録を残すようにしている。
- ・個人情報に関しては、守秘義務を守り漏洩しないよう努めている。

《 改善策として 》

- ・情報発信は保護者の立場に立ちどのように伝わるかを考え作成し、先輩保育者に再度確認をしてもらう。
- ・バス添乗などを通じて様々な保育者が関わるようシフトを組む。
- ・保護者のクレームに関しては、真摯に受け止め保育者間で共有する。

V「地域の自然や社会とのかかわり」についての評価結果及び改善策

評価 B

- 1 地域の自然・人々とのかかわり
- 2 小学校との連携
- 3 子育て支援と地域への開放

という3つの観点から達成度を振り返りました。

- ・新型コロナウイルス感染の増加等により、十分な戸外活動が出来たとは言えなかった。しかし、天気の良い日は、出来るだけ散歩に出かけるよう各クラス意識して対応したと思う。
- ・散歩に出かけることで地域の方々に子ども達から挨拶をするようになったことは、嬉しかった。
- ・未就園児の集まりは、一時的に新型コロナウイルスが静まっていた9月より再開することが出来、喜ばれたが人数制限を設ける等、予約をしなければならない等、ご不便をかけてしまった。
- ・未就園の会の計画・実行等、担当者に任せきりだったため、職員間で創意工夫が必要に思う。
- ・小学校との連携は、新型コロナウイルス感染予防の為にお互いに参観することも出来ませんでした。

《 改善策として 》

- ・職員間で共通認識を持つことが大切である。その為には、園内研修などで個々の声が出せる環境を作る。
- ・自然などの関わりを意識した活動の研究を深める。
- ・職員会議の中で意識して未就園の会の持ち方を議題に揚げ取り組んでいく。
- ・小学校との連携に関しては新型コロナウイルスが落ち着かない限り、対面での関わりが出来ていないが幼稚園通信などを通じてお知らせしていくよう努める。

VI「研修と研究」についての評価結果及び改善策

評価 A

- 1 研修・研究への意欲・態度
- 2 保育者としての専門性に関する研修・研究
- 3 今日的課題に関する研修・研究
- 4 園内の環境・遊具・教材に関する研修・研究

という4つの観点から達成度を振り返りました。

- ・オンライン研修が主流ではあったが、その分様々な分野の研修に参加することが出来た。
- ・目的意識を持った研修に取り組むことが出来なかった。
- ・子どもの発達状況を把握し、援助できるよう研修していきたい。また、職員と共有することで保育計画をより密に立てていくことで子ども達の成長発達に繋がる。

《 改善策として 》

- ・園内研修の充実を図る。教材や遊具を用いて具体的な使い方などを見直す。
- ・オンラインとは違い同じ目的を持った保育者との交わりによって別の角度からの保育感を学ぶことが出来る。
- ・与えられた研修以外に自己向上の為に目的意識を持った研修を行う。
- ・自己評価からの自己課題を年頭に持ち、意識して研修を1つ受ける。